Creative Enzymes®

ネイティブ バチルス属 プリンヌクレオシドホスホリラーゼ

Cat. No. DIA-164

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	プリンヌクレオシドホスホリラーゼ（PNPaseとも呼ばれる）は、プリン代謝に関与する酵素（EC 2.4.2.1）です。PNPはアデノシンをアデニンに、イノシンをヒポキサンチンに、グアノシンをグアニンに代謝し、それぞれのケースでリボースリン酸を生成します。NPはプリンヌクレオシドホスホリラーゼという酵素をコードしており、アデノシンデアミナーゼ（ADA）と共にプリンの異化において重要な役割を果たし、これをサルベージ□路と呼びます。いずれかの酵素の□異は重度の複合免疫不全（SCID）を引き起こします。混乱を招くことに、同じ略語（PNPase）は、別の無関係な酵素であるポリヌクレオチドホスホリラーゼにも使用されます。
用途	無機リン酸の酵素的測定に有用
別名	イノシンホスホリラーゼ; PNPase; PUNPI; PUNPII; イノシン-グアノシンホスホリラーゼ; ヌクレオチドホスファターゼ; プリンデオキシヌクレオシドホスホリラーゼ; プリンデオキシリボヌクレオシドホスホリラーゼ; プリンヌクレオシドホスホリラーゼ; プリンリボヌクレオシドホスホリラーゼ; プリンヌクレオシド: リン酸リボシルトランスフェラーゼ; EC 2.4.2.1

製品情報

由来	バチルス属
外□	無色から淡褐色の溶液
形態	液体
***EC*番号**	EC 2.4.2.1
***CAS*登□番号**	9030-21-1
活性	> 500U/mL
混入物	NADHオキシダーゼ < 0.002%
***pH*安定性**	6.0-10.0 (37°C (トリス-HClバッファー)
最適pH	8
熱安定性	65°C以下で安定（pH 8.5、10分）
阻害剤	Ag+, Hg2+
代謝□路	ニコチン酸とニコチンアミドの代謝; プリン代謝; ピリミジン代謝; ヌクレオチド代謝。
機能	プリンヌクレオシドホスホリラーゼ活性; プリンヌクレオシドホスホリラーゼ活性; プリンヌクレオシドホスホリラーゼ活性。

保管・発送情報

保存方法	-20°C